



2019年度 事業報告書

2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

学校法人 聖マリアンナ医科大学の沿革(概要)

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
1971年1月27日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971年4月1日	東洋医科大学開学(入学定員80名)
1972年7月1日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973年4月1日	聖マリアンナ医科大学に改称(入学定員を100名に増員)
1973年6月11日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974年2月12日	大学病院(本館)開院
1976年1月1日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977年3月30日	大学院医学研究科設置認可
1977年4月1日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979年3月24日	看護専門学校設置認可
1979年4月1日	看護専門学校第1、2看護学科開校(入学定員40名)
1980年7月1日	大学病院(別館)開院
同	救命救急センター開設
1980年10月14日	視聴覚教育センター設置
1983年7月9日	メディカル・フォトセンター設置
1983年10月1日	熱傷センター開設
1986年4月1日	看護専門学校第1看護学科(入学定員を80名に増員)
1987年5月25日	横浜市西部病院開院
1988年3月31日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988年7月6日	MR棟開設
1988年12月26日	大学院附属研究施設設置
1990年10月4日	附属研究所(難病治療研究センター)開設
1991年12月9日	ハートセンター開設
1993年4月1日	糖尿病センター開設
1993年11月26日	大学病院特定機能病院承認
1994年5月16日	夜間急患センター開設
1995年9月1日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996年8月1日	超音波センター開設
1996年10月5日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997年4月1日	医学総合情報センター(図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター)の3施設を統合開設
1997年4月2日	内視鏡センター開設
1997年11月1日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999年4月1日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001年4月1日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001年8月1日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003年4月1日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置
2003年6月25日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004年11月1日	知財事業推進センター開設
2005年4月1日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
2006年2月1日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007年1月22日	日本医療機能評価機構認定
2007年4月1日	腫瘍センター開設
2008年2月6日	機械棟（エネルギーセンター）開棟
2008年4月1日	教育棟開棟
2008年6月16日	東横病院新規開院
2008年11月1日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009年2月1日	キリスト教文化センター開設
2009年3月2日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009年4月1日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010年3月1日	総合周産期母子医療センター開設
2010年4月1日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変
2011年4月1日	総合教育センター開設
2011年10月3日	腫瘍センター整備拡充
2011年12月16日	高神大学医学部（韓国 釜山）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012年4月2日	マリアンナさくら保育園開園
2013年7月3日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013年11月13日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014年4月22日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015年1月26日	江原国立大学医学部（大韓民国）との大学間交流に関する協定を締結
2015年4月1日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015年4月1日	臨床研究データセンター開設
2015年11月9日	同済大学医学院（中国 上海市）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016年4月1日	情報部門及びIT戦略推進室設置。肝疾患医療センター開設
2016年7月1日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016年10月6日	ハワイ大学医学部（アメリカ ハワイ州）との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017年4月1日	感染症センター開設
2017年10月1日	てんかんセンター開設
2018年3月23日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018年4月1日	国際交流センター開設
2018年4月1日	メディカルシミュレーションセンター開設
2018年4月1日	脳卒中センター開設
2018年4月1日	リウマチ・膠原病生涯治療センター開設
2018年4月1日	こどもセンター開設
2019年3月11日	国立成功大学（台湾）と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019年4月1日	先端医療センター開設
2019年4月1日	リハビリテーションセンター開設
2019年4月1日	緩和ケアセンター開設
2019年4月1日	ゲノム医療推進センター開設
2019年4月11日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019年6月12日	ハノイ医科大学（ベトナム）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	大学病院別館6CU開設
2019年8月1日	デジタルヘルス共創センター開設
2019年8月1日	大学医師会開設
2019年10月31日	コンケン大学医学部（タイ）との学生交流プログラムに関する協定を締結

建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

2019 年 度 年 譜

4月 1日 (月)	入職式	1月 5日 (日)	看護専門学校一般入学試験
6日 (土)	医学部入学式	6日 (月)	仕事始め・賀詞交歓会
9日 (火)	看護専門学校入学式	8日 (水)	看護専門学校一般入学試験合格発表
5月 9日 (木)	実験動物感謝祭	31日 (金)	医学部一般入学第1次試験
27日 (月)	理事会・評議員会(決算)	2月 5日 (水)	医学部一般入学第1次試験合格発表
6月 22日 (土)	看護専門学校祭	8日 (土)	医学部一般入学第2次試験
29日 (土)	聖医祭	〃	第114回医師国家試験
30日 (日)	聖医祭	9日 (日)	医学部一般入学第2次試験
8月 1日 (木)	東医体(8月15日までの予定)	〃	第114回医師国家試験
10月 3日 (木)	解剖ご遺体慰霊法要並びに学内追悼 ミサ	14日 (金)	医学部一般入学第2次試験合格発表
4日 (金)	創立者故・ステファノ明石嘉間博士と 亡くなられたすべての教職員学内ミサ	16日 (日)	第109回看護師国家試験
12日 (土)	開学記念日	3月 5日 (木)	看護専門学校卒業証書授与式
17日 (木)	永年勤務者表彰式	6日 (金)	医学部卒業証書・学位記授与式
26日 (土)	看護専門学校推薦入学試験	9日 (月)	定年退職者感謝会
29日 (火)	看護専門学校推薦入学試験合格発表	16日 (月)	第114回医師国家試験合格発表
11月 1日 (金)	看護専門学校戴帽式	19日 (木)	第109回看護師国家試験合格発表
17日 (日)	医学部推薦入学第1次試験	25日 (水)	大学院学位記授与式
22日 (金)	医学部推薦入学第1次試験合格発表	30日 (月)	理事会・評議員会(補正・当初予算)
12月 1日 (日)	医学部推薦入学第2次試験		
5日 (木)	医学部推薦入学第2次試験合格発表		

目 次

I. 法人の概要

1. 法人の概況	1
2. 設置する学校・学部・学科	4
3. 収益事業	4
4. 役員(理事・監事)および評議員関係	4
5. 大学の主な役職者	5
6. 教職員数	6
7. 法人組織図	7

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況	8
1—1 大学病院	10
1—2 東横病院	10
1—3 西部病院	11
1—4 多摩病院	11
1—5 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック	11
2. 入学試験状況	12
3. 学生在籍者数	14
4. 国家試験合格状況	14
5. 博士(医学)の学位授与状況	15
6. 補助金交付状況	16
7. 主な施設・設備の更新等	17

III. 財務の概要

1. 財務の概況	18
2. 学校法人会計	19
3. 収益事業会計(多摩病院)	27
4. 附属病院等の状況	28

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 法人組織の改革

創立50周年記念事業の中核事業である菅生キャンパスリニューアル事業計画は、2026年度のグランドオープンに向け概ね順調に進捗しております。また、リニューアル事業に係る資金調達についても2019年度から本格的にスタートしたことを受け、2020年度を高収益体質への抜本的改革元年と位置づけ、予算編成においては重点的に取り組むべき項目を定め、それを達成するための戦略的な法人予算の策定も視野に入れ、教職員全員が積極的に横断的に係わる予算編成に向けより具体的な指針を示すこととします。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

医学部では、2016年度入学者より、グローバルスタンダードに基づく新カリキュラムを導入し、学年進行により適用し、第3学年まで施行しております。

新カリキュラム体制下では新たにICM (Introduction to Clinical Medicine) を導入し、臨床実習前の準備学習を臨床手技等も含め4週間で実施しました。

加えて、臨床実習教育はもとより、医学研究の実際に触れることでリサーチマインドを涵養することを目的とした研究室配属コースを配当し、学生の希望に基づき各講座での研究活動を行い、有志の学生による研究成果発表会を行いました。同コースでは、協定校である明治大学や多摩美術大学等の協力を得て、医学以外の研究分野に取り組むことも実現しました。

また、臨床実習はこれまでより3カ月間早く第4学年1月よりクリニカル・クラークシップを前提とした臨床実習が開始となりました。実習期間の拡充に伴い、第1クールでは主に内科系・外科系診療科を4週間単位で横断的にローテートし、スチューデントドクターとしての基礎的な臨床能力を身に付けるための充実した教育体制を整えられています。

臨床実習では、実習評価の柱としては、2020年度より新たに全国医学部にて正式実施となるPost-CC OSCE (臨床実習後 OSCE) を昨年度に引き続き、第6学年の7月にトライアル実施し、臨床能力評価を推し進めました。

国際交流の分野では、国際交流の活性化と推進を図るため、国際交流センターを組織し、新たにハノイ医科大学 (ベトナム)、コンケン大学 (タイ) とそれぞれ学術交流協定を締結し、東南アジア地域の大学との交流をさらに拡充しました。

入試では、神奈川県内の地域医療に関連する診療科を担当する医師が不足している状況に鑑み、県内において地域医療を担う医師の育成と確保する観点から、神奈川県と連携を図り、新たに「神奈川県地域枠特別推薦入学試験 (募集人員：5名)」を導入しました。

2) 大学院

国際交流の拡充に向け、海外より留学生（中国籍）1名の入学がありました。また、大学院学位記授与式では優秀論文者3名および優秀指導者2名を表彰し、そのうち、医師以外の学生（管理栄養士）1名の修了者を輩出しています。

3) 看護専門学校

教育面では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、100単位3,030時間の授業時間に加えて学外ゼミナール・医療安全教育等を実施し、総学習時間は3,600時間余りとなりました。

また、学生の基礎学力強化のため、始業前・放課後の短時間学習、休業中の集中学習は継続し実施しました。今年度は昨年の国家試験合格率の低下を受け、3年生の卒業試験、補習講義の時期、知識の定着のさせ方、国家試験の時に100%の力を発揮できるよう、学習プログラムの構築を行いました。さらにICT利活用による学校ポータルサイトの充実、オンラインストレージを活用した学習支援を推進しています。

また、双方向型学習支援に向け、学生アンケートへ行い準備を開始しました。教職員の自己研鑽・相互研鑽においては、看護研究研修・パフォーマンス評価研修会・コミュニケーション研修等を開催しました。学校全体の評価としては、「自己点検自己評価」の結果をホームページに掲載し、2019年度第2回「学校関係者評価」を実施するにあたり、高等学校校長や看護協会会長など幅広く委員を募り、評価の客観性をより高める取り組みをしました。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

2019年4月より、3つのセンター（ゲノム医療推進センター、リハビリテーションセンター、緩和ケアセンター）を開設しました。また、8月より、大学病院における総合診療にも対応できる看護師を育成する看護師特定行為研修センター及びICUから一般病棟や他病院への転院の橋渡しとなるB6CU（Bridging 6 Care Unit）を開設しました。

9月9日付で厚生労働省より、長年にわたり地域の救急医療の確保及び救急医療対策の推進に貢献した医療機関として、救急医療功労者厚生労働大臣賞を受賞しました。また、同月19日付で「がんゲノム医療拠点病院」に指定されました。

2020年1月15日付で公益社団法人日本看護協会より、音声入力による診療記録時間の削減の取り組みが認められ「看護業務の効率化 先進事例アワード2019」の奨励賞を受賞しました。

2) 東横病院

神経難病外来、しびれの検査外来、運転免許外来、不整脈外来を開始し、専門外来の充実を図っています。現在、「消化器病センター」「心臓病センター」「脳神経・脳卒中センター」「失神センター」「生活習慣病センター」「婦人科」「健康診断センター」を備えており、急性期医療から婦人科疾患、日常の健康管理、予防まで幅広いニーズに応え続ける病院となっております。

3) 西部病院

2019年5月より、電子カルテシステム導入を含む新医療情報システムの運用を開始しました。「情報の有効活用、安全と質の向上、業務の効率化・標準化・最適化、連携の強化等」を目的としたシステムとなります。導入プロジェクトでは「①パッケージでの導入、②将来を見据えたIT技術の導入、③地域連携の強化を見据えた技術の導入」の3つの大きな方針を立て、2018年9月より幾多の会議を重ね、直前には入念なチェックを伴うリハーサルを経て、無事運用開始の運びとなりました。導入後、見直しを図りながら1年をかけて新システムが定着してきています。

11月には、横浜市の新型インフルエンザ対策として毎年行われる「帰国者・接触者外来設置シミュレーション訓練」が、幹事病院である当院で行われました。横浜市健康福祉局と院内事務局や看護職を中心に企画・シナリオを作成し運営全般を検討、訓練当日は医療従事者の参加や市民等も見学を訪れ、訓練の経験を今後に生かす意識を共有することができました。

今後は、地域連携の強化や入退院支援を目的とした患者支援センターの設立・運用開始と、休棟していた病棟の再開棟に取り組む予定です。

4) 多摩病院

2019年10月に術前麻酔科外来を設置し、医療の質の確保と周術期の安全を提供する取り組みを開始しました。また、「総合診療センター」は、総合医を育てる医育機関として、また聖マリアンナ医科大学の教育、研修施設としてその役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の2つを柱とし、両者が連携を取り診療、教育に当たり、初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なっています。

昨年度受審した病院機能評価は2019年6月5日から2024年6月4日で更新認定されました。当院では、PDCAサイクルを回し院内機能の向上、質の向上を目的に院内でサーベイヤーを設置し院内機能評価を行いました。

5) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

設備面においては、2019年6月に超音波診断装置1台を更新。2020年3月に骨密度測定装置を更新しました。新たな取り組みとして、プレミアムフライデー検診（時間外検診）を実施して、乳がん検診患者の受入れを積極的に行いました。また、定期的な患者向け勉強会としてがん哲学外来新百合メディカルカフェにおいて講演会を実施した他、「麻生区健康づくりのつどい」にブースを出展しました。

(4) 被災地支援活動

過去に起きた幾多の災害で得た教訓から、平常時からの連携体制構築が重要であると認識されており、行政機関や地域医療機関との訓練や研修に積極的に参画しています。今後もDMAT（災害派遣医療チーム）活動や医療救護班派遣の経験を活かし、有事の際に迅速かつ効果的な医療支援が実施できるよう、平常時からの備えを不断なく行っていきます。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科
開学年月日 1971年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科
開学年月日 1977年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程
開校年月日 1979年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013年3月29日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営
指定管理者指定日 2015年6月24日
所在地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事・監事)構成

理事・監事	氏名	任期
理事長	明石勝也	2017年4月1日～2020年3月31日
学長	尾崎承一	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	三宅良彦	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	北川博昭	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	田口芳雄	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	久保田恭司	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	本田伸夫	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	小宮清	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	山本真士	2017年4月1日～2020年3月31日
理事	菊岡正和	2017年8月1日～2020年3月31日
監事	大石忠生	2017年4月1日～2020年3月31日
監事	清水至	2017年4月1日～2020年3月31日

(2) 常勤理事構成

理事長 明石勝也 他常勤理事8名 (2020年3月31日現在)

(3) 評議員構成

評議員 明石 勝也 他評議員 29名
(任期：2017年4月1日～2020年3月31日)

(4) 顧問

特別顧問 1名 (任期：2017年4月1日～2020年3月31日)
顧問 2名 (任期：2017年4月1日～2020年3月31日)

(5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

2019年 5月27日 2019年 7月29日 2019年 11月25日
2019年 12月23日 2020年 3月30日

評議員会開催日

2019年 5月27日 2019年 11月25日 2020年 3月30日

常任役員会開催日

2019年 4月 8日 2019年 4月22日 2019年 5月27日
2019年 6月24日 2019年 7月29日 2019年 9月30日
2019年 10月28日 2019年 11月25日 2019年 12月11日
2019年 12月23日 2020年 1月16日 2020年 1月27日
2020年 2月13日 2020年 2月25日 2020年 3月30日

5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	尾 崎 承 一	
医 学 部 長	加 藤 智 啓	生化学教授
研 究 科 長	伊 東 文 生	内科学（消化器・肝臓内科）教授
大 学 病 院 長	北 川 博 昭	外科学（小児外科）教授
東 横 病 院 長	宮 島 伸 宜	外科学（消化器・一般外科）診療教授
西 部 病 院 長	田 口 芳 雄	脳神経外科学（脳神経外科一般）特任教授
多 摩 病 院 長	鈴 木 通 博	内科学（消化器・肝臓内科）教授
「プレスト&イメージング 先端医療センター」 附属クリニック院長	福 田 護	外科学（乳腺・内分泌外科）特任教授

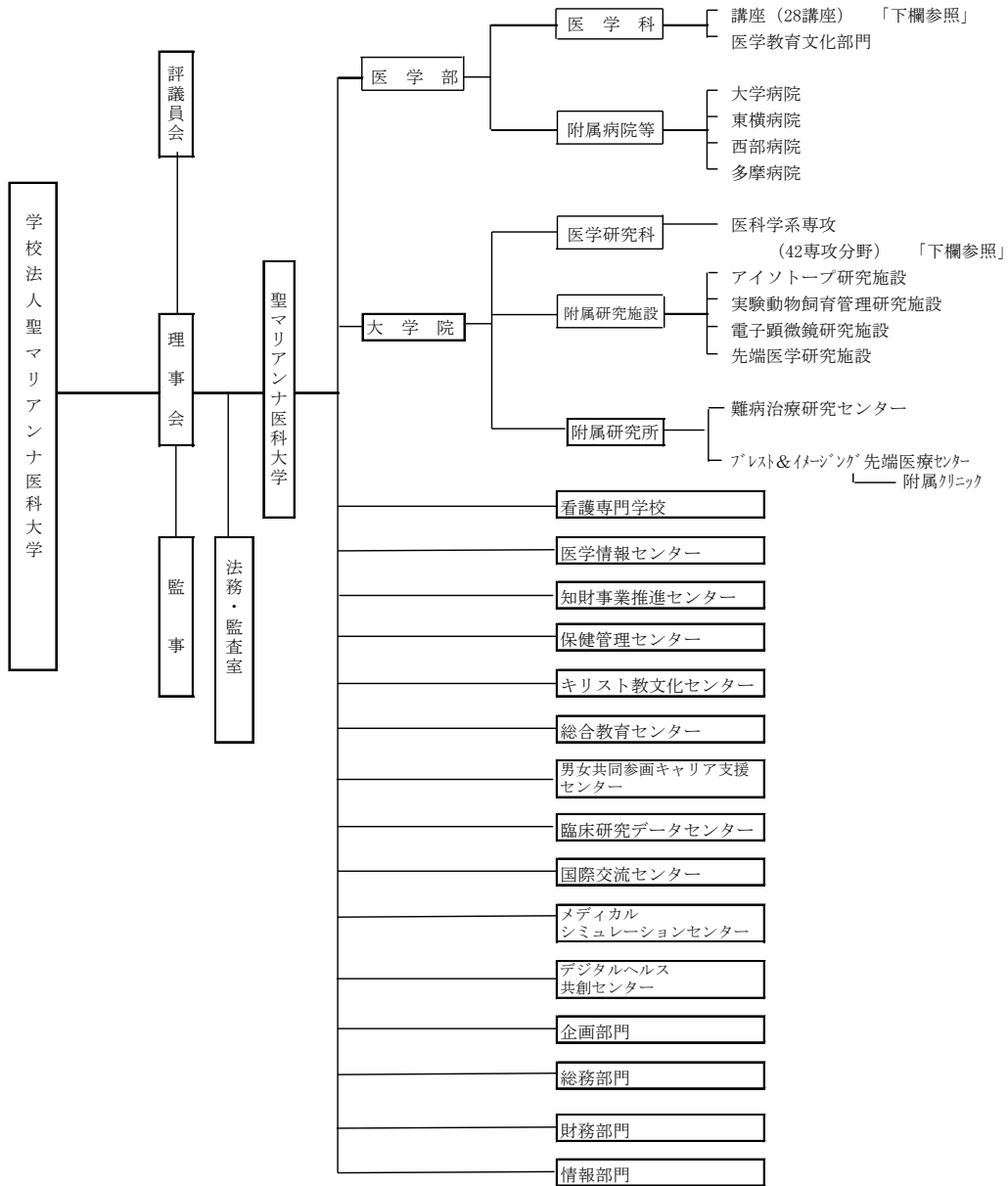
6. 教職員数 (2020年3月1日現在)

区 分		医学部	大学病院	東横病院	西部病院	多摩病院	グレスト&イ メージング 附属 クリニック	看護専 門学校	大学院	大学院 研究施 設研究 所	合 計
教員	学長	1									1
	教授※1	94	(64)	(10)	(10)	(6)	(0)		7	1	102
	准教授	75	(39)	(4)	(12)	(6)	(1)		2	3	80
	講師	132	(73)	(3)	(14)	(17)	(1)		1	5	138
	助教	576	(286)	(24)	(85)	(71)	(3)		2	3	582
	小計(1)	878	(462)	(41)	(121)	(100)	(5)	0	12	12	902
職員	その他医師		86	1	12	12	1				112
	看護師	11	1108	142	478	371	10				2120
	薬剤師	1	77	6	28	25	1				138
	臨床検査技師		101	19	29	24	4				177
	放射線技師		70	11	28	22	6				137
	O T ・ P T ・ S T		31	9	20	19					79
	医・診療技術員		66	6	25	17					114
	栄養士等		21	1	9	4					35
	事務員	188	160	30	71	64	6	4		2	525
	研究技術員	38								12	50
	教員							22			22
	その他	9	69	1	15	18					112
	小計(2)	247	1,789	226	715	576	28	26	0	14	3,621
合計(1)+(2)		1,125	1,789	226	715	576	28	26	12	26	4,523
その他(研修医)			86		11	18					115
総 計		1,125	1,875	226	726	594	28	26	12	26	4,638

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士、調理師
事 務 員	事務、クラーク、秘書、司書、メディアコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、医療技術助手、調理員、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員

※1 教授＝特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科28講座			医学研究科42専攻分野			
解剖学	内科学	腎泌尿器外科学	生体構造学	生体統合制御学	疾患プラットフォーム・分子病態治療学	臨床微生物・感染制御学
生理学	神経精神科学	産婦人科学	臨床薬理学	病理病態学	再生医学・免疫病態医学	健康・環境制御医学
生化学	小児科学	眼科学	法医学	難治性疾患病態制御学	脳情報制御医学	内科学
微生物学	外科学	耳鼻咽喉科学	小児科学	神経精神科学	放射線医学	皮膚科学
薬理学	脳神経外科学	麻酔学	腎泌尿器外科学	外科学	脳神経外科学	整形外科学
免疫学・病害動物学	整形外科学	救急医学	産婦人科学	眼科学	耳鼻咽喉科学	麻酔学
病理学	形成外科学	臨床検査医学	形成外科学	救急医学	スポーツ医学	臨床検査医学
予防医学	皮膚科学	スポーツ医学	遺伝子多型・機能解析学	応用分子腫瘍学	臨床腫瘍学	感染症学
法医学	放射線医学	臨床腫瘍学	疾患バイオマーカー標的分子制御学	先端医療開発学	分子神経科学	臨床再生組織工学
感染症学			医療情報処理技術応用研究分野	ブライマリア・地域医療学コース	生活習慣病プラットフォーム・フェッショナル養成コース	最新医学研究コース
			高度臨床医育成コース	未来がん医療プラットフォーム・フェッショナル育成コース		

II. 事業の概要

1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2019年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- ・ ソウル大学校附属盆唐病院と国際交流協定を締結
- ・ デジタルヘルス共創センターの設置

医学部

- ・ 神奈川県地域枠特別推薦入学試験を導入
- ・ 新カリキュラム体制下による第4学年臨床実習開始
- ・ 学生電子カルテ専用PC設置
- ・ 第4学年ICMを開講
- ・ 第4学年研究室配属を開講
- ・ Post-CC OSCE トライアル実施
- ・ 国試直前合宿を実施
- ・ ハノイ医科大学（ベトナム）との学術交流協定を締結
- ・ コンケン大学（タイ）との学術交流協定を締結

大学院

- ・ 「がんプロフェッショナル養成プラン」における第Ⅲ期第4回市民公開講座を開催

大学病院

- ・ ゲノム医療推進センターの開設
- ・ リハビリテーションセンターの開設
- ・ 緩和ケアセンターの開設
- ・ 看護師特定行為研修センターの開設
- ・ B6CU病棟の開設
- ・ 救急医療功労者厚生労働大臣賞の受賞
- ・ がんゲノム医療拠点病院に認定
- ・ 看護業務の効率化 先進事例アワード2019 奨励賞の受賞

東横病院

- ・ 神経難病外来開始
- ・ しびれの検査外来開始
- ・ 運転免許外来開始
- ・ 不整脈外来開始

西部病院

- ・ 新医療情報システムの本稼働開始（電子カルテシステム導入）
- ・ 救命救急センター国内研修の実施（国外から国内への研修地変更）
- ・ 卒後臨床研修評価機構（JCEP）受審
- ・ 横浜市新型インフルエンザ対策 幹事病院として「帰国者・接触者外来設置シミュレーション訓練」の実施

1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

多摩病院

- ・ 公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価 認定
- ・ 術前麻酔科外来開始
- ・ 嚥下患者用とろみ自動販売機の設置
- ・ 特定看護師業務院内研修開始
- ・ SPD システムの業者変更
- ・ 院内機能評価の実施

ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・ がん哲学外来新百合メディカルカフェ合同新年会開催
- ・ 麻生区健康のつどいブース出展
- ・ 定期的な患者様向け勉強会実施
- ・ 超音波診断装置 1 台と骨密度測定装置を更新
- ・ プレミアムフライデー検診（時間外検診）の実施
- ・ 乳がん早期発見のための企業向け講演会実施

看護専門学校

- ・ 1 年次から 3 年次まで臨地実習におけるポートフォリオの活用開始
- ・ 3 年次卒業試験の時期と内容の見直しを行い、合わせて卒業試験準備試験導入
- ・ 第 2 回関係評価委員会開催
- ・ 国際看護協会世界大会（シンガポール）研究発表
テーマ「看護学生の心理 社会的アイデンティティと学習方法の関連」
- ・ 第 10 回オールマリアンナ知恵の実践の報告会発表（示説）において、奨励賞受賞

1-1 大学病院

開 院 年 月 日	1974年2月12日
許 可 病 床 数	1,175床 (稼動病床数 1,012床) [一般病棟 1,123床、精神病棟 52床]
患 者 数	入院延人数 322,651人 1日入院平均 882人 外来延人数 605,092人 1日外来平均 2,065人
診 療 科 等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科 (31診療科) 内科総合診療部、呼吸器病センター、ハートセンター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、腎臓病センター、糖尿病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、肝疾患医療センター、総合周産期母子医療センター、こどもセンター、精神療法・ストレスケアセンター、認知症(老年精神疾患)治療研究センター、統合失調症治療センター、リハビリテーションセンター、腫瘍センター、緩和ケアセンター、生殖医療センター、感染症センター、てんかんセンター、救命救急センター、夜間急患センター、健康診断センター、ゲノム医療推進センター (24診療施設)

1-2 東横病院

開 設 年 月 日	1971年4月1日 (2008年6月16日リニューアルオープン)
許 可 病 床 数	138床 (稼動病床数 132床)
患 者 数	入院延人数 37,538人 1日入院平均 103人 外来延人数 83,324人 1日外来平均 310人
診 療 科 等	循環器内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、代謝・内分泌内科、婦人科、リウマチ内科・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、放射線科、麻酔科、病理診断科 (13診療科) 消化器病センター、心臓病センター、脳神経・脳卒中センター、失神センター、生活習慣病センター、救急集中治療部、健康診断センター(女性検診センターを含む) (7診療施設)

1-3 西部病院

開設年月日	1987年5月25日
許可病床数	518床（稼動病床数450床）
患者数	入院延人数 118,318人 1日入院平均 323人 外来延人数 247,187人 1日外来平均 922人
診療科等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科（25診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター、周産期センター（4診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

1-4 多摩病院

開院年月日	2006年2月1日
許可病床数	376床（稼働病床数376床）
患者数	入院延人数 114,205人 1日入院平均 312人 外来延人数 215,483人 1日外来平均 804人
診療科等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、腫瘍内科（31診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部（4診療施設）

1-5 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開院年月日	2009年3月2日
許可病床数	無床
外来患者数	外来延人数 36,206人 1日外来平均 134人
診療科等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 入学試験状況

(1) 医学部

推薦入学試験 (地域枠含む)

第1次試験 2019年 11月 17日(日)

同合格発表 2019年 11月 22日(金)

第2次試験 2019年 12月 1日(日)

同合格発表 2019年 12月 5日(木)

一般入学試験

第1次試験 2020年 1月 31日(金)

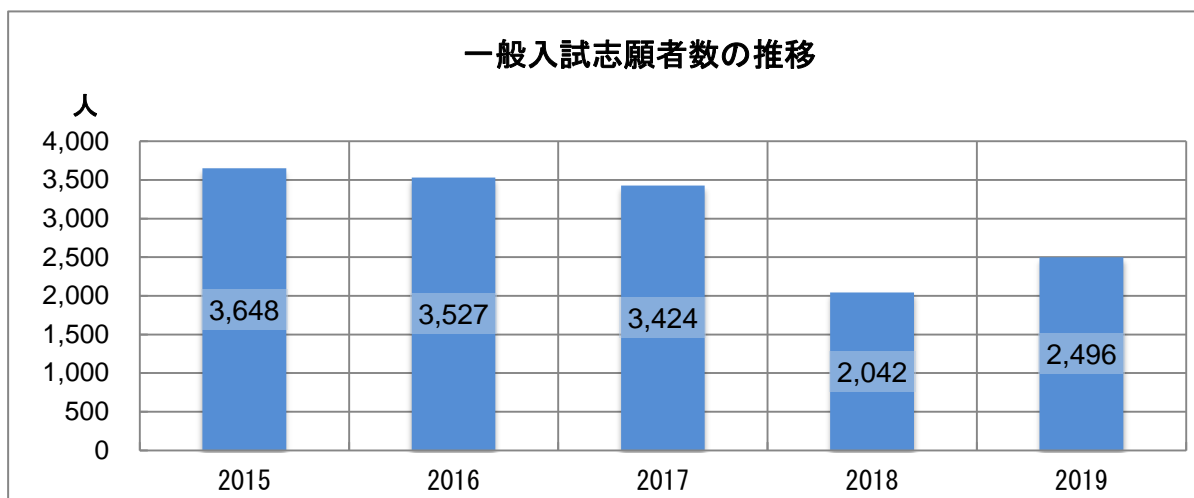
同合格発表 2020年 2月 5日(水)

第2次試験 2020年 2月 8日(土)・9日(日)のいずれか1日

同合格発表 2020年 2月 14日(金)

区分	募集人員	志願者数	入学者数
推薦	約 35 名	141 (94)名	38 (27) 名
一般	約 85 名	2,355(982)名	77 (38) 名
合計	115 名	2,496(1,076)名	115 (65) 名

(括弧内数字は女子学生数)



(2) 大学院

第1次入学試験 2019年 11月 1日(金)

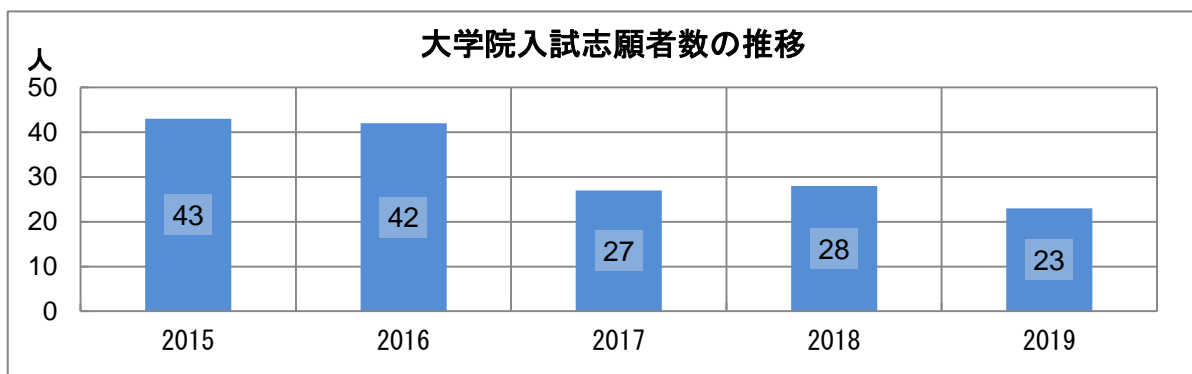
同合格発表 2019年 12月 5日(木)

第2次入学試験 2020年 1月 10日(金)

同合格発表 2020年 2月 6日(木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数
医科学系	60 名	23 (10)名	23 (10)名

(括弧内数字は女子学生数)



(3) 看護専門学校

推薦入学試験 2019年10月26日(土)

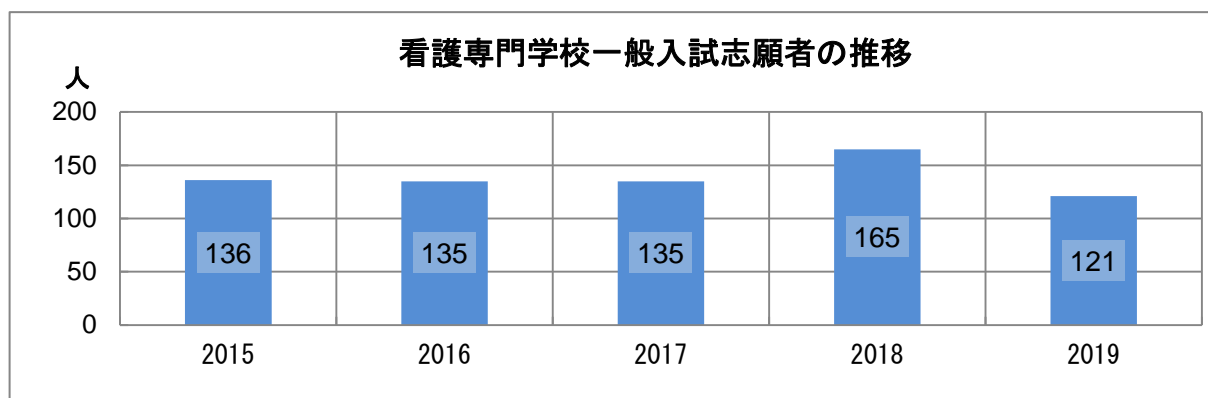
同合格発表 2019年10月29日(火)

一般入学試験 2020年1月5日(日)

同合格発表 2020年1月8日(水)

区 分	募集人員	志願者数	入学者数
推 薦	募集人員の50%程度	68 (2)名	54 (2)名
特 別 選 抜	募集人員の50%程度	25 (5)名	6 (1)名
一 般	募集人員の50%程度	121 (7)名	31 (1)名
合 計	80名	214 (14)名	91 (3)名

(括弧内数字は男子学生数)



3. 学生在籍者数

(1) 医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	115 名	125 (66) 名
2 学 年	115 名	121 (54) 名
3 学 年	115 名	109 (44) 名
4 学 年	115 名	124 (42) 名
5 学 年	115 名	120 (52) 名
6 学 年	115 名	118 (39) 名
合 計	690 名	717 (297) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(2) 大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60 名	28 (11) 名
2 学 年	60 名	27 (4) 名
3 学 年	60 名	35 (3) 名
4 学 年	60 名	38 (5) 名
合 計	240 名	128 (23) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(3) 看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80 名	96 (8) 名
2 学 年	80 名	84 (6) 名
3 学 年	80 名	84 (5) 名
合 計	240 名	264 (19) 名

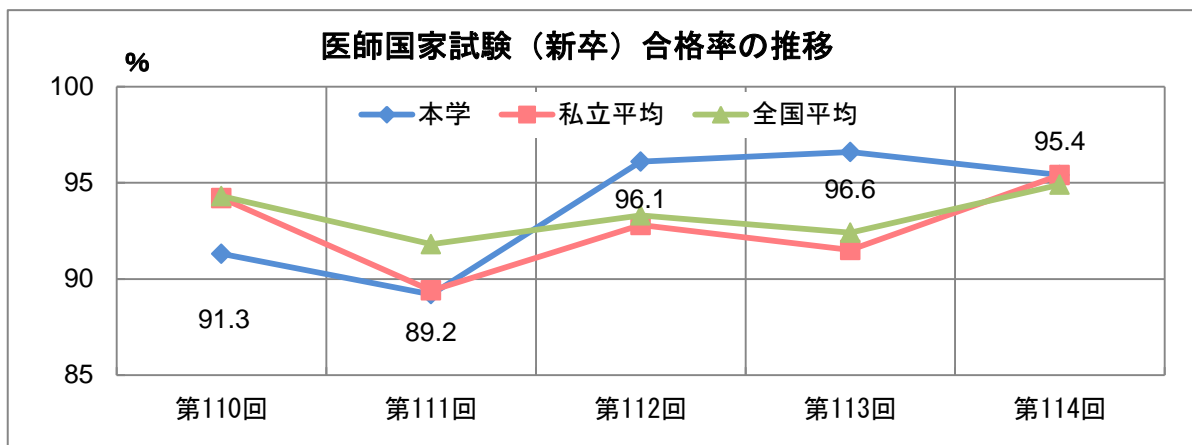
(括弧内数字は男子学生数)

4. 国家試験合格状況

(1) 第 114 回医師国家試験合格状況

第 114 回医師国家試験は、本学の合格者数は 108 名、合格率 95.6% で、全国平均および私立医科大学平均の合格率を上回る結果となりました。

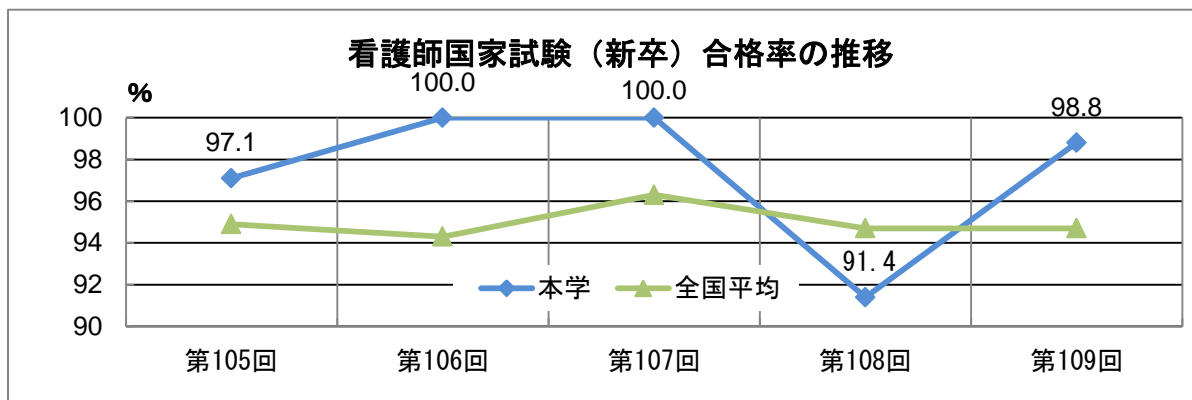
	新 卒	既 卒	全 体
受 験 者 数	108 名	5 名	113 名
合 格 者 数	103 名	5 名	108 名
本 学 合 格 率	95.4%	100.0%	95.6%
私立医科大学平均合格率	95.4%	77.1%	93.3%
全 国 平 均 合 格 率	94.9%	69.2%	92.1%



(2) 第109回看護師国家試験合格状況

第109回看護師国家試験の合格率は98.8%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。
 なお、合格者80名のうち74名が本学附属病院等に入職しました。

	新卒
受験者数	81名
合格者数	80名
本学合格率	98.8%
全国平均合格率	94.7%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課程修了によるもの	33件
論文提出によるもの	13件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2019年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部 門	補助者	件数	交付金額
医 学 部	国庫補助金	1件	2,115,401千円
	川崎市	1件	
	私学事業団	1件	
大 学 病 院	国庫補助金	3件	404,417千円
	神奈川県	8件	
	川崎市	7件	
東 横 病 院	国庫補助金	0件	5,200千円
	神奈川県	1件	
	川崎市	5件	
西 部 病 院	国庫補助金	3件	159,232千円
	神奈川県	5件	
	横浜市	5件	
多 摩 病 院	国庫補助金	1件	684,002千円
	神奈川県	4件	
	川崎市	4件	
看 護 専 門 学 校	神奈川県	2件	39,148千円
	川崎市	2件	
法 人 合 計			3,407,400千円
内 訳	国庫補助金		2,192,850千円
	地方公共団体補助金等		1,214,550千円

(2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2019年度科学研究費補助金は、次のとおり申請 271 件に対し新規採択が 30 件、継続採択が 64 件の合計 94 件に対し、118,686 千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は 11.07%です。

研究種目	申請件数	新規		継続	
		件数	金額	件数	金額
新 学 術 領 域 研 究	0件	0件	0千円	0件	0千円
基 盤 研 究 (A)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)(一般)	8件	3件	19,200千円	3件	10,800千円
基盤研究(B)(特設分野)	1件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)(海外)				0件	0千円
基 盤 研 究 (C)	157件	17件	20,800千円	49件	43,900千円
挑 戦 的 研 究 (開 拓)	1件	0件	0千円	0件	0千円
挑 戦 的 研 究 (萌 芽)	15件	1件	2,200千円	1件	1,900千円
若 手 研 究	86件	8件	10,000千円	11件	9,800千円
研究活動スタート支援	3件	1件	86千円	0件	0千円
合 計	271件	30件	52,286千円	64件	66,400千円

7. 主な施設・設備の更新等

2019年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

施設関係	新部室棟・グリーン棟新築
	リニューアル事業に伴う医学部本館部分改修工事
設備関係	教育棟教室レーザー光源プロジェクター更新
	医学部6階大講堂音響システム一式更新
	超音波診断ファントム上腹部病変付モデル(シミュレータ)取得

◆ 大学病院

施設関係	病院別館6階北病棟GCU開設工事
	リニューアル事業に伴う病院部分改修工事
設備関係	泌尿器科用超音波診断装置更新
	患者集中監視用生体情報モニター式の更新
	4K内視鏡システム取得

◆ 東横病院

施設関係	4階会議室改修工事
設備関係	電子内視鏡スコープ一式更新
	手術用无影灯(映像統合システム含む)更新

◆ 西部病院

施設関係	エレベータ2号機更新
設備関係	電子カルテシステム取得
	医用画像保管システム取得

◆ 多摩病院

設備関係	超音波診断装置更新
	万能手術台更新

◆ プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

設備関係	超音波診断装置更新
------	-----------

◆ 看護専門学校

設備関係	アップライトピアノ更新
------	-------------

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2019年度は、『菅生キャンパス・リニューアル計画の実行に必要な財務基盤の強化』を従来同様の重点課題とし、法人全体で32億円以上の内部留保額を確保することを目標に、50周年記念事業寄付金を除く基本金組入前収支差額を754百万円とする当初予算を編成していましたが、結果として2008年度以来11期ぶりとなる赤字決算となりました。

要因としては、患者数減少や平均単価下落により医療収入が伸び悩む一方、リニューアル計画上の必要経費や直接材料費の増加のほかに、入試実態調査に係る第三者委員会関連経費、適時調査返還金、保有株式評価損の計上等の特殊要因が大きく影響しました。リニューアル計画上の中核事業である新入院棟建設がこれから本格化するなか、今般のコロナ禍による経営への影響等、法人を取り巻く内外の環境は厳しさを増しており、慎重かつ緻密な舵取りが必要です。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2019年度決算①	2019年度補正②	2018年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,299	4,299	4,282	0	17
寄付金収入	799	807	437	△ 8	362
補助金収入	2,723	2,689	2,822	34	△ 99
医療収入	58,557	58,811	56,303	△ 254	2,254
その他の収入	10,803	10,784	11,825	19	△ 1,022
資金収入調整勘定	△ 9,193	△ 7,572	△ 7,039	△ 1,621	△ 2,154
当年度収入合計(A)	67,988	69,818	68,630	△ 1,830	△ 642
借入金等収入(1)	13,600	12,800	200	800	13,400
前年度繰越支払資金	9,709	9,709	7,867	0	1,842
収入の部合計	91,297	92,327	76,697	△ 1,030	14,600
(支出の部)					
勘定科目	2019年度決算①	2019年度補正②	2018年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	28,924	28,884	28,402	40	522
教育研究経費支出	3,280	3,308	2,924	△ 28	356
医療経費支出	31,124	31,203	29,119	△ 79	2,005
管理経費支出	2,428	2,368	2,112	60	316
施設・設備関係支出	9,972	9,871	2,091	101	7,881
借入金等利息支出	44	44	30	0	14
その他の支出	10,418	10,862	11,370	△ 444	△ 952
資金支出調整勘定	△ 9,423	△ 9,191	△ 9,384	△ 232	△ 39
当年度支出合計(B)	76,767	77,349	66,664	△ 582	10,103
借入金等返済支出(2)	6,123	5,323	324	800	5,799
次年度繰越支払資金	8,407	9,655	9,709	△ 1,248	△ 1,302
支出の部合計	91,297	92,327	76,697	△ 1,030	14,600
当年度資金差額(A)-(B)	△ 8,779	△ 7,531	1,966	△ 1,248	△ 10,745
借入金差額(1)-(2)	7,477	7,477	△ 124	0	7,601

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2019決算 ①	2019補正 ②	2018決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,299	4,299	4,282	0	17
	寄付金収入	292	306	358	▲14	▲66
	経常費等補助金収入	2,666	2,633	2,763	33	▲97
	医療収入	58,557	58,811	56,303	▲254	2,254
	その他の収入	2,401	2,382	2,233	19	168
	収入合計(A)	68,215	68,431	65,939	▲216	2,276
支出	人件費支出	28,924	28,884	28,402	40	522
	教育研究経費支出	3,280	3,308	2,924	▲28	356
	医療経費支出	31,124	31,203	29,119	▲79	2,005
	管理経費支出	2,355	2,368	2,102	▲13	253
	支出合計(B)	65,683	65,763	62,546	▲80	3,137
調整勘定等(C)	▲1,926	▲348	1,824	▲1,578	▲3,750	
資金差額(D=A-B+C)	606	2,320	5,217	▲1,714	▲4,611	

2019年度は、**教育研究診療活動により、606百万円(D)**の資金差額を得ました。

調整勘定等(C)の予算差異▲1,578百万円は、当期末の未収入金や未払金が増加したことによるものです。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等の活動▲8,910百万円(H)**をくわえた資金差額は▲8,304百万円(D+H)となります。

この二つの活動と借入金の返済を含む**財務活動等7,002百万円(N)**を合わせた資金差額▲1,302百万円(Q)が繰越資金の増減少となるため、2020年度へは**8,407百万円(P)の支払資金**を繰り越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金4,552百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支		2019決算 ①	2019補正 ②	2018決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	寄付金・補助金収入	564	557	139	7	425
	その他の収入	718	718	65	0	653
	収入合計(E)	1,282	1,275	204	7	1,078
支出	施設・設備関係支出	9,972	9,871	2,091	101	7,881
	その他の支出	12		66	12	▲54
	支出合計(F)	9,983	9,871	2,157	112	7,826
調整勘定等(G)	▲209	▲313	▲501	104	292	
資金差額(H=E-F+G)	▲8,910	▲8,909	▲2,454	▲1	▲6,456	
資金差額小計(D+H)	▲8,304	▲6,589	2,763	▲1,715	▲11,067	

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	13,600	12,800	200	800	13,400
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	651	626	748	25	▲97
	収入合計(J)	14,251	13,426	948	825	13,303
支出	借入金等返済支出(K)	6,123	5,323	324	800	5,799
	借入金等利息支出	44	44	30	0	14
	その他の支出	1,082	1,524	1,082	▲442	0
	支出合計(L)	7,249	6,891	1,436	358	5,813
調整勘定等(M)			▲433	0	433	
資金差額(N=J-L+M)	7,002	6,535	▲921	467	7,923	

借入金等収入(I)のうち1,000百万円は期中の運転資金借入です。また私学事業団からの借入50億円のバックアップとして銀行団から同額の借入を行っています(いずれも借入年度内に返済し次年度繰越はありません。)
多摩病院の収益事業活動に伴う純利益は、マイナスとなったため、学校会計への繰り入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)	9,709	9,709	7,867	0	1,842	
次年度繰越支払資金(P)	8,407	9,655	9,709	▲1,248	▲1,302	
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)	▲1,302	▲54	1,842	▲1,248	▲3,144	
内訳	借入金差額(R=I-K)	7,477	7,477	▲124	0	7,601
	当年度資金差額(S=Q-R)	▲8,779	▲7,531	1,966	▲1,248	▲10,745

借入金差額▲7,477百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲8,779百万円(S)となります。

※科目ごとに百万円未満四捨五入により必ずしも合計で一致しない

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2019決算 ①	2019補正 ②	2018決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,299	4,299	4,282	0	17
	寄付金	295	307	361	▲12	▲66
	経常費等補助金	2,666	2,633	2,763	33	▲97
	医療収入	58,557	58,811	56,303	▲254	2,254
	その他の収入	2,401	2,382	2,233	19	168
	収入合計(A)	68,218	68,432	65,942	▲214	2,276
支出	人件費	29,075	29,137	28,601	▲62	474
	教育研究経費	3,757	3,782	3,390	▲25	367
	医療経費	33,183	33,286	31,049	▲103	2,134
	管理経費	2,457	2,470	2,192	▲13	265
	その他の支出	15	20	14	▲5	1
	(減価償却額)	(2,544)	(2,544)	(2,348)	0	196
支出合計(B)	68,488	68,695	65,246	▲207	3,242	
収支差額(C=A-B)		▲270	▲263	696	▲7	▲966

事業活動の本業にあたる教育活動(研究・診療活動を含む)では、前年度に比べ医療収入が増加し**68,218百万円(A)**を計上しました。

支出面では前年度より人件費、医療経費等が増加し、**教育活動収支差額は、前年度より966百万円減、補正後予算より7百万円減の▲270百万円(C)**を計上しました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支

収入	受取利息・配当金他	33	34	39	▲1	▲6
	収益事業収入				0	0
	収入合計(D)	33	34	39	▲1	▲6
支出	借入金等利息	44	44	30	0	14
	その他の支出				0	0
支出合計(E)		44	44	30	0	14
収支差額(F=D-E)		▲11	▲10	9	▲1	▲20
経常収支差額(G=C+F)		▲281	▲273	705	▲8	▲986

また、財務活動による収入33百万円(D)に対し、借入金等利息44百万円(E)を支出したため、**教育活動外収支差額は▲11百万円(F)**、教育活動収支差額を合わせた**経常収支差額は▲281百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資産売却差額	2	2	14	0	▲12
	寄付金・補助金収入	570	560	157	10	413
	その他の収入			1	0	▲1
収入合計(H)		572	562	172	10	400
支出	資産処分差額	254	140	92	114	162
	その他の支出	73		11	73	62
支出合計(I)		327	140	103	187	224
特別収支差額(J=H-I)		245	422	69	▲177	176

50周年記念事業募金や教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による**特別収支差額は245百万円(J)**です。

この結果、事業活動収支差額は、前年度を810百万円下回る**▲36百万円(K)**となりました。また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は**▲64,792百万円(P)**となっています。

尚、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を2,670百万円上回り**68,823百万円(Q)**となりました。

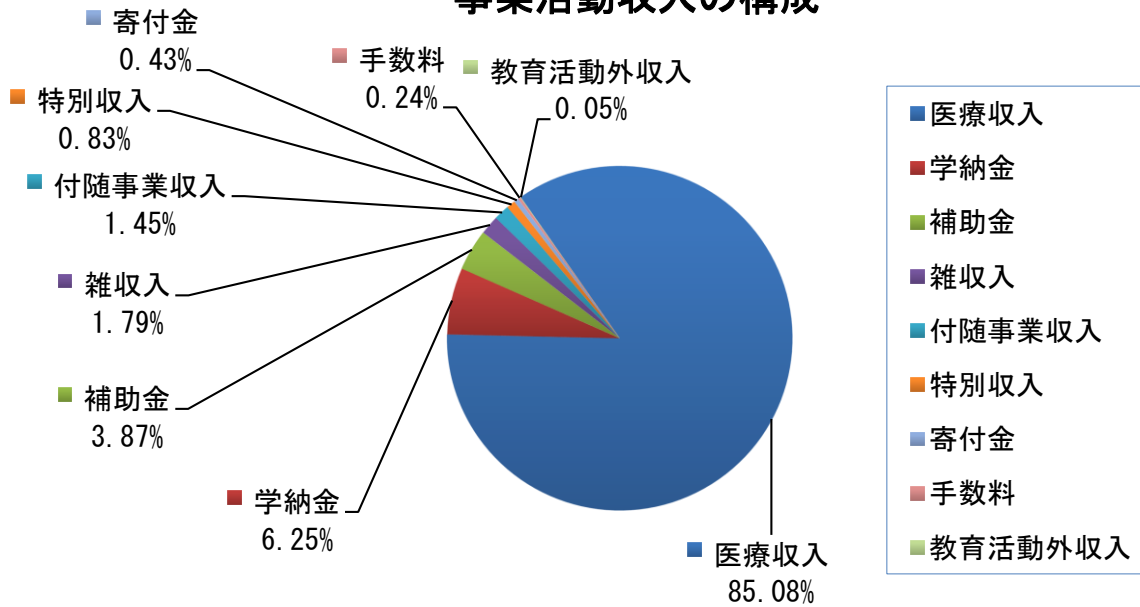
※科目ごとに百万円未満四捨五入により必ずしも合計で一致しない

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	▲36	149	774	▲185	▲810
基本金組入額(L)	▲1,339	▲1,383	▲1,306	44	▲33
当年度収支差額(M=K+L)	▲1,375	▲1,234	▲532	▲141	▲843
前年度繰越収支差額(N)	▲63,539	▲63,539	▲63,129	0	▲410
基本金取崩額(O)	122	115	122	7	0
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲64,792	▲64,658	▲63,539	▲134	▲1,253

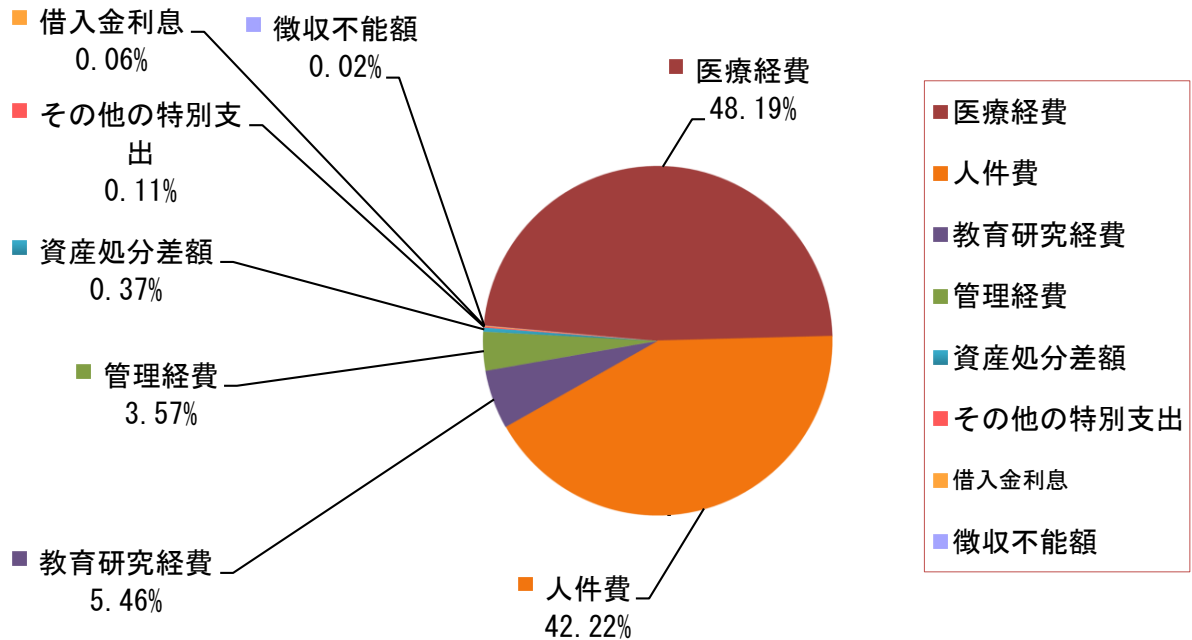
(参考)

事業活動収入計(Q)	68,823	69,028	66,153	▲205	2,670
事業活動支出計(R)	68,859	68,879	65,379	▲20	3,480

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)ともいわれ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	42,985	36,459	6,526	固定負債	20,397	12,743	7,654
有形固定資産	39,252	32,695	6,557	長期借入金	8,237	760	7,477
土地・建物・構築物	66,090	65,702	388	退職給与引当金	12,144	11,983	161
機器備品	21,208	21,023	185	その他の負債	16		16
その他の資産	10,184	3,319	6,865	流動負債	11,731	11,641	90
減価償却累計額	▲ 58,230	▲ 57,349	▲ 881	短期借入金	124	124	0
特定資産	973	1,678	▲ 705	未払金	9,796	9,667	129
その他の固定資産	2,760	2,086	674	その他の負債	1,811	1,850	▲ 39
有価証券	114	225	▲ 111	負債の部合計	32,128	24,384	7,744
収益事業元入金	111	111	0	基本金	94,937	93,720	1,217
その他の資産	2,535	1,750	785	1号基本金	89,878	88,661	1,217
				2号基本金	0	0	0
流動資産	19,288	18,106	1,182	3号基本金	507	507	0
現金・預金	8,407	9,709	▲ 1,302	4号基本金	4,552	4,552	0
その他の資産	10,881	8,397	2,484	繰越収支差額	▲ 64,792	▲ 63,539	▲ 1,253
				純資産の部合計	30,145	30,181	▲ 36
合計	62,273	54,565	7,708	合計	62,273	54,565	7,708

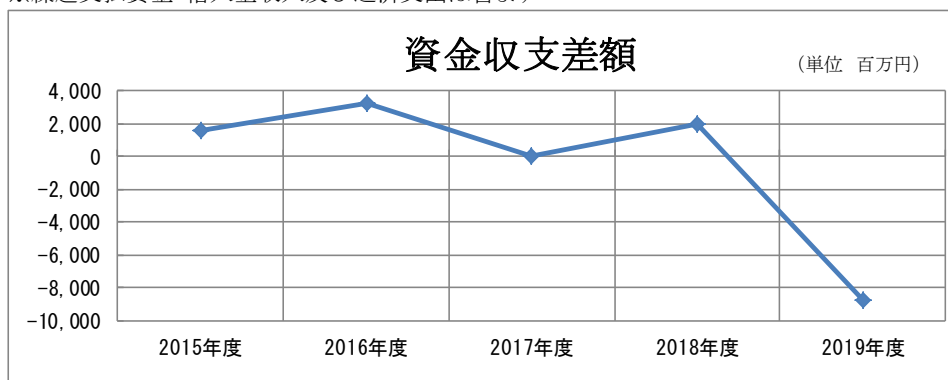
(5) 財務比率などの推移 (2013年度より多摩病院を収益事業会計として区分経理)

① 資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学納金	4,099	4,240	4,237	4,282	4,299
補助金	2,662	2,755	2,755	2,822	2,723
医療収入	51,307	53,332	55,081	56,303	58,557
その他	2,972	3,534	2,850	5,223	2,409
資金収入計	61,040	63,861	64,923	68,630	67,988
人件費	26,201	26,855	27,789	28,402	28,924
教育研究経費	2,761	2,755	2,982	2,924	3,280
医療経費	25,604	26,593	28,342	29,119	31,124
その他	4,911	4,381	5,797	6,219	13,439
資金支出計	59,477	60,584	64,910	66,664	76,767
資金収支差額	1,563	3,277	13	1,966	△ 8,779

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



② 事業活動収支差額及び消費収支差額推移表

2015年度より、学校法人会計基準の一部改正に伴い計算書類の様式が変更になったため、

収支差額を事業活動収支計算書の様式で表記

・2015年度からの計算書

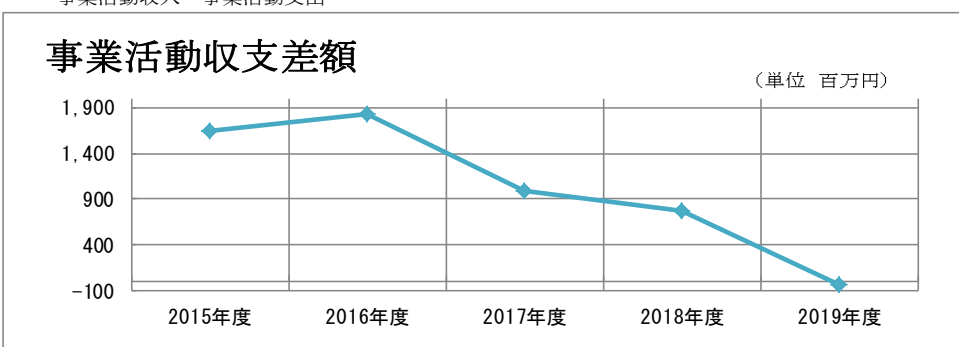
による収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学納金	4,099	4,240	4,237	4,282	4,299
補助金	2,662	2,755	2,755	2,822	2,723
医療収入	51,307	53,332	55,081	56,303	58,557
その他	2,995	2,769	2,695	2,746	3,244
事業活動収入計	61,063	63,096	64,768	66,153	68,823
人件費	26,426	26,977	27,871	28,601	29,075
教育研究経費	3,260	3,233	3,437	3,390	3,757
医療経費	27,692	28,581	30,480	31,049	33,183
その他	2,038	2,473	1,998	2,339	2,844
事業活動支出計	59,416	61,264	63,786	65,379	68,859
事業活動収支差額	1,647	1,832	982	774	△ 36

※事業活動収支差額

= 事業活動収入 - 事業活動支出

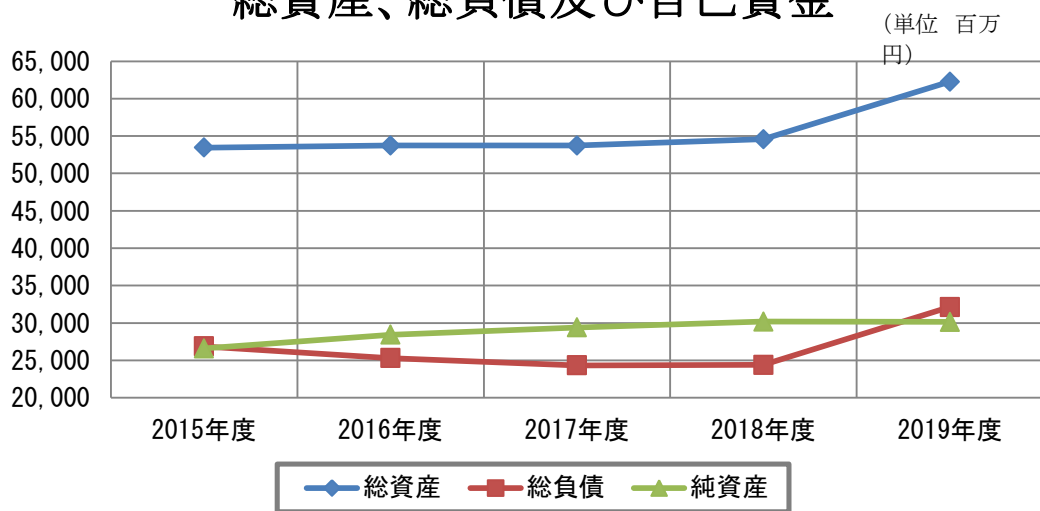


③財政状況表

(単位 百万円)

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
固定資産	36,252	36,707	36,319	36,459	42,985
流動資産	17,208	17,025	17,404	18,106	19,288
総資産	53,460	53,732	53,723	54,565	62,273
固定負債	15,640	12,783	12,656	12,743	20,397
流動負債	11,227	12,524	11,660	11,641	11,731
総負債	26,867	25,307	24,316	24,384	32,128
純資産	26,593	28,425	29,407	30,181	30,145

総資産、総負債及び自己資金



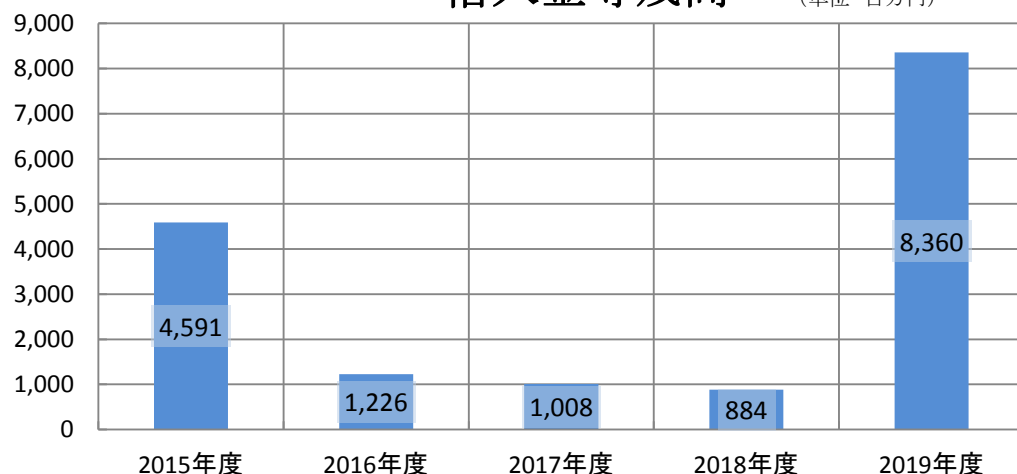
④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
借入金	4,591	1,226	1,008	884	8,360
学校債	0	0	0	0	0
合計	4,591	1,226	1,008	884	8,360

借入金等残高

(単位 百万円)



⑤財務比率一覧

2015年度からの計算書関連比率表

(1) 貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	67.8%	68.3%	67.6%	66.8%	69.0%	↑
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	61.5%	61.8%	61.3%	59.9%	63.0%	↑
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.0%	3.1%	3.1%	3.1%	1.6%	↓
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	32.2%	31.7%	32.4%	33.2%	31.0%	↓
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	29.3%	23.8%	23.6%	23.4%	32.8%	↓
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	21.0%	23.3%	21.7%	21.3%	18.8%	↑
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-31.5%	-28.6%	-27.1%	-23.4%	-36.3%	↓
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-7.6%	-4.7%	-2.9%	0.1%	-12.7%	↓
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	49.7%	52.9%	54.7%	55.3%	48.4%	↓
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-115.0%	-116.3%	-117.5%	-116.4%	-104.0%	↑
11	固定比率	固定資産／純資産	136.3%	129.1%	123.5%	120.8%	142.6%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	85.8%	89.1%	86.3%	84.9%	85.0%	～
13	流動比率	流動資産／流動負債	153.3%	135.9%	149.3%	155.5%	164.4%	↑
14	総負債比率	総負債／総資産	50.3%	47.1%	45.3%	44.7%	51.6%	↓
15	負債比率	総負債／純資産	101.0%	89.0%	82.7%	80.8%	106.6%	↓
16	前受金保有率	現金預金／前受金	935.8%	928.0%	857.5%	1134.3%	935.7%	↓
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	97.1%	98.0%	99.6%	99.7%	92.9%	↓
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	32.2%	32.1%	31.2%	29.9%	29.3%	～
20	積立率	運用資産／要積立額	14.7%	14.4%	13.8%	16.1%	13.0%	↓

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2) 事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	43.43%	42.82%	43.11%	43.35%	42.60%	↑
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	644.20%	636.25%	657.85%	667.89%	676.42%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	50.90%	50.49%	52.47%	52.20%	54.12%	↑
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	2.89%	2.97%	2.94%	3.32%	3.60%	↓
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.27%	0.19%	0.06%	0.05%	0.06%	～
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	2.70%	2.90%	1.52%	1.17%	-0.05%	↓
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	99.76%	101.67%	101.05%	100.82%	102.04%	↓
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	6.74%	6.73%	6.55%	6.49%	6.30%	～
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.75%	0.74%	0.66%	0.69%	1.17%	↑
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.73%	0.71%	0.64%	0.55%	0.43%	↓
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	4.36%	4.37%	4.25%	4.27%	3.96%	↓
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	4.28%	4.27%	4.09%	4.19%	3.91%	↓
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	2.46%	4.50%	2.54%	1.97%	1.95%	↑
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	4.30%	4.07%	4.01%	3.60%	3.71%	↓
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	2.47%	3.51%	1.40%	1.07%	-0.41%	↓
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	2.53%	3.64%	1.38%	1.06%	-0.40%	↓

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3) 活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	6.70%	7.76%	6.12%	7.91%	0.89%	↓

(注) 教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

●貸借対照表

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,505	2,446	59	流動負債	2,799	2,213	586
現金・預金	880	853	27	未払金他	2,799	2,213	586
未収入金	1,528	1,523	5	固定負債	1,863	1,793	70
その他	97	70	27	退職給与引当金	1,863	1,793	70
固定資産	1,084	1,178	▲ 94	負債の部合計	4,662	4,006	656
有形固定資産	1,892	1,750	142	純資産	▲ 1,073	▲ 382	▲ 691
減価償却累計額	▲ 829	▲ 650	▲ 179	元入金	111	111	0
その他	21	78	▲ 57	繰越利益剰余金	▲ 1,184	▲ 493	▲ 691
			0	純資産の部合計	▲ 1,073	▲ 382	▲ 691
合 計	3,589	3,624	▲ 35	合 計	3,589	3,624	▲ 35

(2) 損益計算書

●損益計算書

		2019決算 ①	2019補正 ②	2018決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医 療 収 入	9,609	9,618	9,679	▲ 9	▲ 70
	補 助 金	684	675	677	9	7
	そ の 他	166	172	185	▲ 6	▲ 19
	小 計	10,459	10,465	10,541	▲ 6	▲ 82
費 用	医 療 経 費	3,982	4,007	3,954	▲ 25	28
	人 件 費	5,248	5,248	5,148	0	100
	(医 師)	(1,120)	(1,115)	(1,072)	(5)	(48)
	負 担 金	693	693	693	0	0
	そ の 他	1,227	1,248	936	▲ 21	291
	小 計	11,150	11,196	10,731	▲ 46	419
当期純利益		▲ 691	▲ 731	▲ 190	40	▲ 501

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校会計から経理を区分していません。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計の当期純利益は▲691百万円となり、期末の純資産は▲1,073百万円となりました。(繰越利益剰余金が▲の場合、当期純利益の学校会計繰入は行いません。)

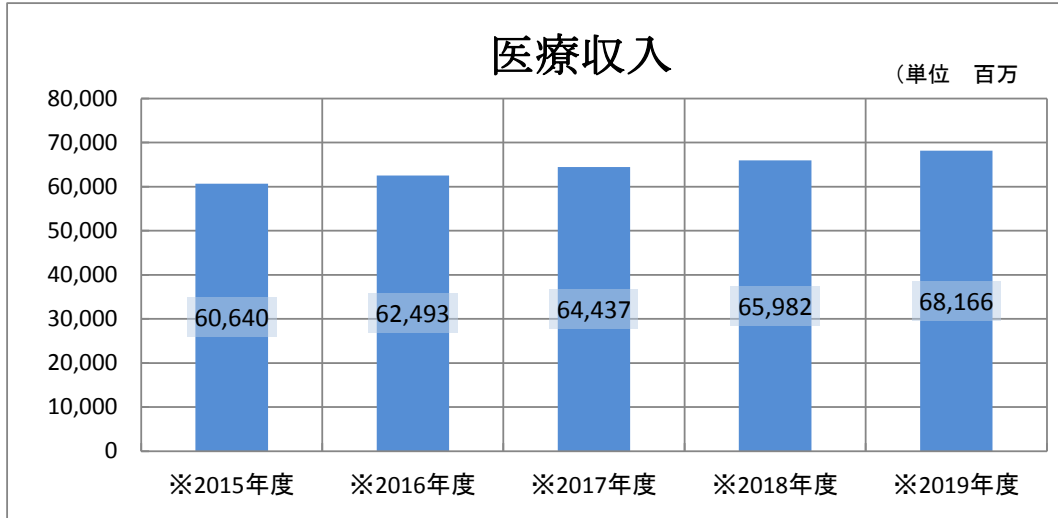
4. 附属病院等の状況

(1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部 門	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度	※2019年度
大 学 病 院	32,792	34,289	35,405	36,691	38,446
東 横 病 院	3,401	3,607	3,782	3,460	3,786
西 部 病 院	14,204	14,528	15,019	15,293	15,191
B&I先端医療センター 附 属 クリニック	910	908	875	859	1,134
多 摩 病 院	9,333	9,161	9,356	9,679	9,609
合 計	60,640	62,493	64,437	65,982	68,166

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

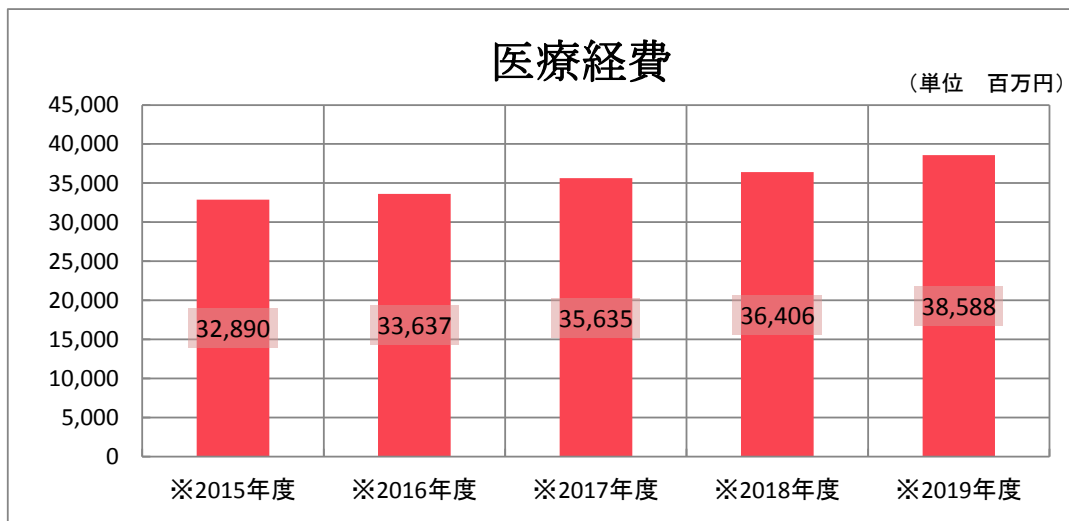


(2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部 門	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度	※2019年度
大 学 病 院	16,319	17,197	18,455	19,353	20,550
東 横 病 院	2,043	2,089	2,176	1,955	2,105
西 部 病 院	8,591	8,575	9,149	9,081	9,631
B&I先端医療センター 附 属 クリニック	739	720	700	659	897
多 摩 病 院	5,198	5,056	5,155	5,358	5,405
合 計	32,890	33,637	35,635	36,406	38,588

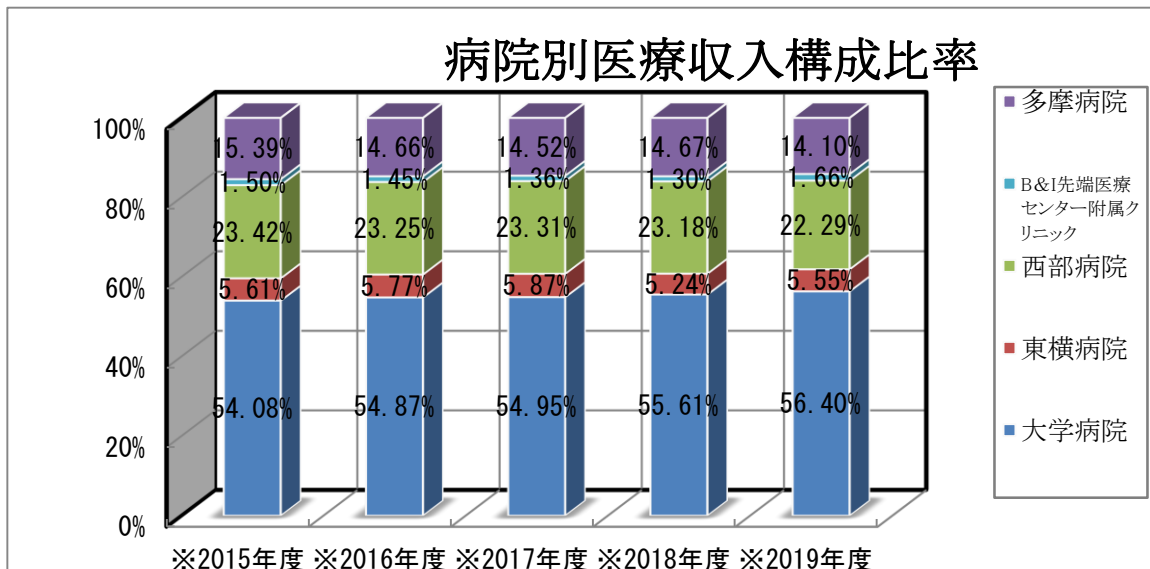
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



(3) 病院別医療収入構成比率推移表

部 門	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度	※2019年度
大学病院	54.08%	54.87%	54.95%	55.61%	56.40%
東横病院	5.61%	5.77%	5.87%	5.24%	5.55%
西部病院	23.42%	23.25%	23.31%	23.18%	22.29%
B&I先端医療センター 附属クリニック	1.50%	1.45%	1.36%	1.30%	1.66%
多摩病院	15.39%	14.66%	14.52%	14.67%	14.10%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%

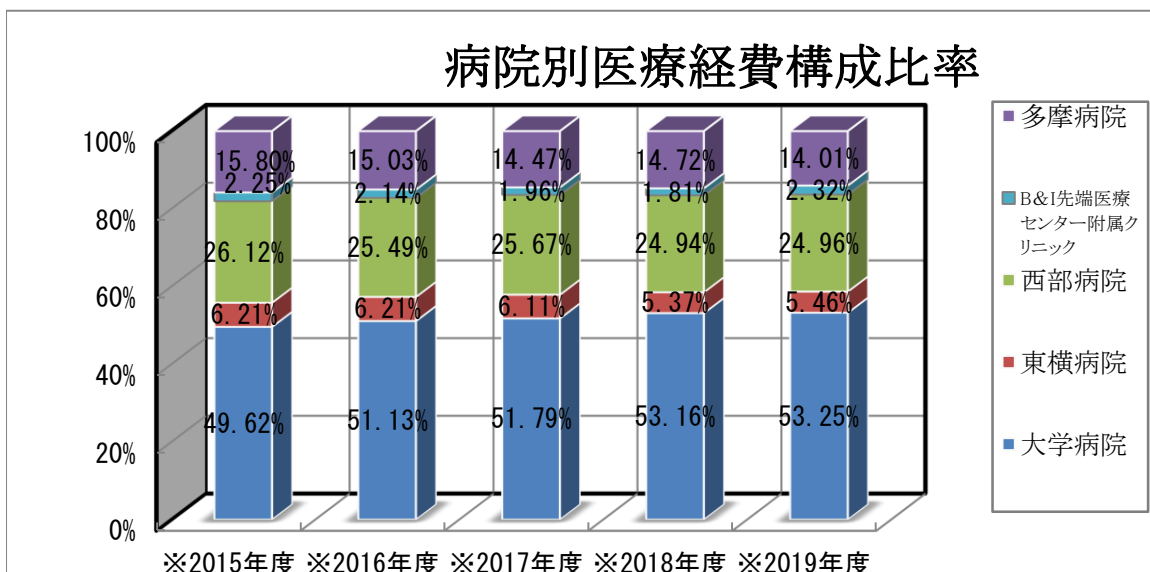
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



(4) 病院別医療経費構成比率推移表

部 門	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度	※2019年度
大学病院	49.62%	51.13%	51.79%	53.16%	53.25%
東横病院	6.21%	6.21%	6.11%	5.37%	5.46%
西部病院	26.12%	25.49%	25.67%	24.94%	24.96%
B&I先端医療センター 附属クリニック	2.25%	2.14%	1.96%	1.81%	2.32%
多摩病院	15.80%	15.03%	14.47%	14.72%	14.01%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%

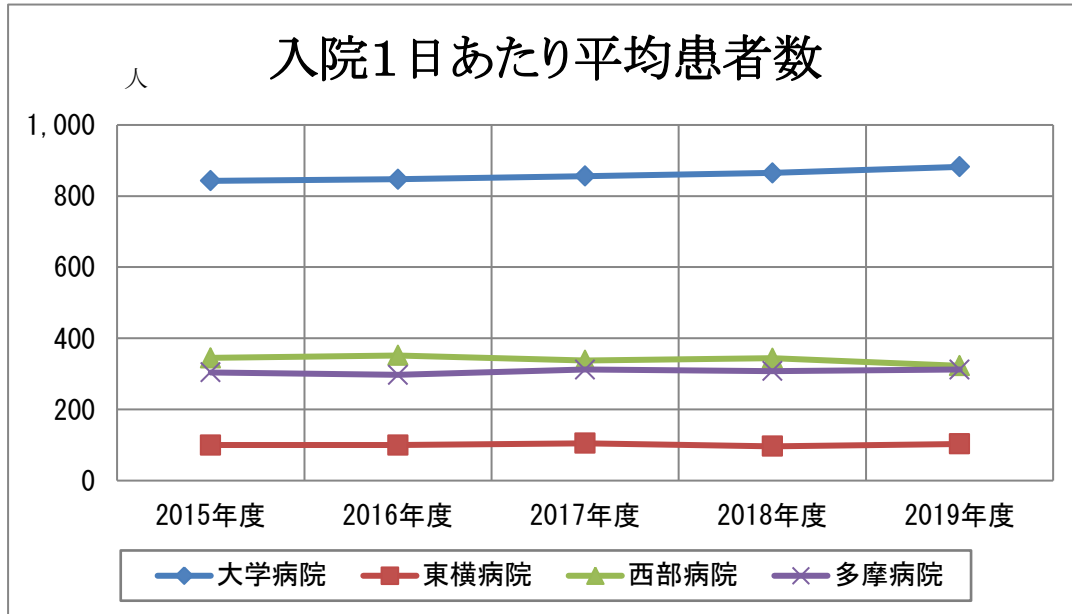
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

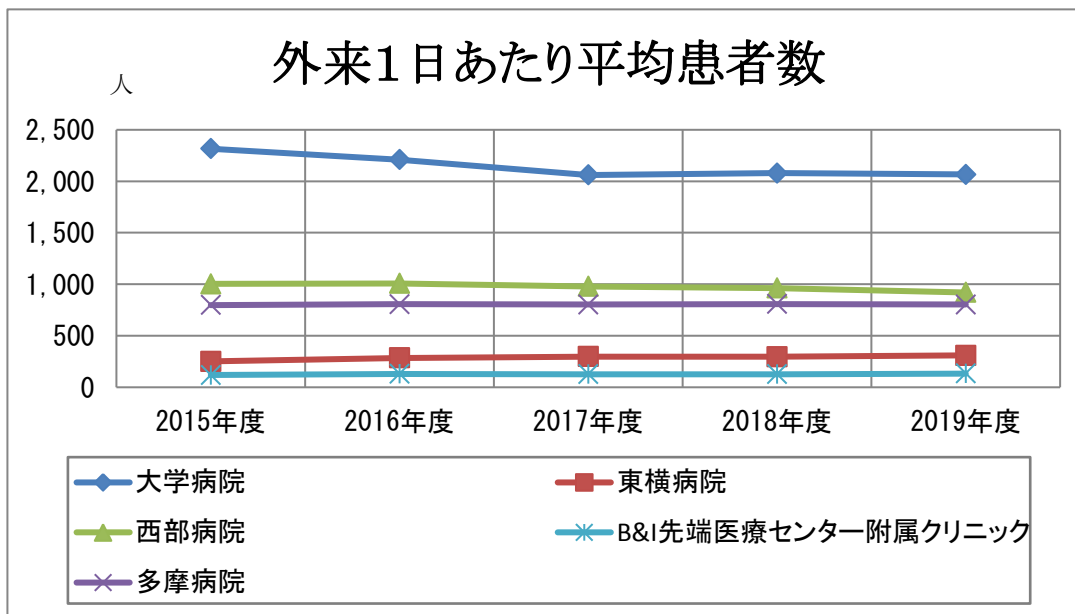
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
大学病院	843	847	856	865	882
東横病院	100	100	105	97	103
西部病院	345	352	338	344	323
多摩病院	304	297	312	308	312



(6) 病院別外来1日平均患者数

(単位 人)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
大学病院	2,316	2,209	2,061	2,079	2,065
東横病院	252	285	298	296	310
西部病院	1,004	1,009	979	963	922
B&I先端医療センター 附属クリニック	119	130	128	128	134
多摩病院	799	806	804	808	804



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒 211-0063 川崎市中原区小杉町 3-435

TEL 044-722-2121(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <http://www.marianna-u.ac.jp/>